

次第

1 理事長挨拶

- ・ 議長選出
- ・ 書記任命
- ・ 議事録署名者委嘱

2 議事

第 1 号議案 平成 28 年度事業中間報告承認の件について

- ・ 海外支援にかかわる事業
- ・ 国内福祉・奉仕・国際理解教育（授業・講演）に関わる事業

第 2 号議案 平成 28 年度収支予算番修正（案）承認の件について

第 3 号議案 平成 29 年度事業助成申碑承認の件について

その他

- ・ カンボジア支援者の集い 10 月 29 日（本日）
- ・ 第 2 回カンボジア訪問打合せ会 10 月 29 日（本日）
- ・ 第 2 回カンボジア訪問 11 月 9 日（水）～19 日（土） ※2 班編成
- ・ 予定変更
忘年会 12 月 17 日（土）→新年会・第 3 回訪問打合せ会
1 月 8 日（日）12 : 00（打合せ 11 : 00）
- ・ 第 3 回カンボジア訪問 1 月 19 日（水）～1 月 30 日（月）※3 班編成
第 1 班 1 月 19 日（水）～1 月 30 日（月）
第 2 班 1 月 19 日（水）～1 月 24 日（火）※バイヨン中学校運動会
第 3 班 1 月 24 日（火）～1 月 30 日（月）※養成校運動会

《参考》 本会の成立要件

（定足数）定款第 26 条「総会は、正会員総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することができない。」

第 1 号議案 平成 28 年度事業中間報告について

(1) 海外支援関係事業 ※決算額 10 月 20 日現在

①カンボジア教員研修交流事業（招聘事業における使節団感想メモ）

事業決算額 957,471 円（内蒲郡国際交流協会助成見込み：50,000 円）

本法人の交流事業の主力であるカンボジア教員研修招聘事業は、本年度で第 4 回を迎えた。

これまでと同様に 3 名の先生と 1 名の通訳ということでの招聘で、期間は 9 月 7 日から 9 月 14 日の 1 週間の日程で実施。この間、南部保育園、名倉小、蒲郡南部小、蒲郡中、三谷中、中部中、愛知教育大学及び生命の海科学館を研修場所とし、使節団の皆さんは使命感をもって積極的に研修に取り組んでいた。子どもとの交流を始め、社員との交流も例年になく親密なものとなった。

一方、カンボジア訪問事業においては、6 月に第 1 回のカンボジア訪問を実施し、これまでの理科・体育・美術に加えて音楽の授業実践を行い、教員研修の実をあげた。

②カンボジア王国シエムリアップ州運動会普及事業

事業決算額 84,240 円

6月のカンボジア訪問にあわせ、シエムリアップ州教員養成学校での第1回運動会実施に向けての支援をした。バイヨン中学校の日本方式の運動会とはやや趣を異にして、クメールの伝統文化を取り込んだ特異な運動会となった。来年1月第2回の運動会をバイヨン中学校ともども実施の予定である。

③寄贈品コンテナ輸送事業

事業見込み額 724,000 円 (内ソロプチミスト日本財団助成：500,000 円)

9月21日、年度をまたいで寄贈いただいていた衣類、文房具、スポーツ用具、スチール戸棚など約8,800点を20フィートコンテナ満載にして発送した。業者(上組)によると10月末にバイヨン中学校に到着とのこと。

(2) 国内福祉・奉仕・国際理解教育（授業・講演等）に関わる事業（10月末日現在）

○マジック公演及びマジック講座回数 20回

○国際理解教育等授業・講演会回数 5回

○以前より親交のあったカンボジア在住笠原知子氏主宰の「小さな美術スクール」の作品展覧会を8～10月にかけて実施。

8月 設楽町での分散展示

9月 使節団訪問校での分散展示

10月13日～19日 蒲郡市博物館ギャラリー

10月21日～27日 愛知教育大学附属図書館♥アイ・スペース

第3号議案 平成28年度事業助成申請案件（予定）

①カンボジア王国シエムリアップ州における運動会普及支援事業

(アジア・市民交流助成プログラム12月1日締め切り)

2016年1月、カンボジア王国シエムリアップ市バイヨン中学校での運動会、さらに6月に実施したシエムリアップ州教員養成学校（小学校教員養成2年課程）での運動会の実践を足場に、これらの学校行事が学校運営の推進力になるよう、両校の運動会充実発展に向け、さらなる支援を継続する。さらに、運動会が現地一般校にも普及するように、現地教員組織にも働きかけ、研修会の開催や希望校を募って運動会実施のハード・ソフト両面での支援をする。

②カンボジアの中学生が取り縮む環境保全推進事業（クラウド・ファウンディング）

2014年より始まったバイヨン中学校での「JST事業：水環境再生プロジェクト（三井物産環境基金助成事業）」では、水質と生物環境についての体験的な学習を通して、水質の浄化が生物生態系にとって重要で、それが人々の生産活動や食生活に大きく影響してきていることを学んできた。これらの学習経験を活かし、ゴミの処理の意義及びその手法とそれらに関わる体験活動を通して、アンコールクラウ村の環境美化、さらにはアンコール遺跡周辺の環境保全推進活動に発展させ、社会貢献の一翼を担わせたいと考える。

本法人では、バイヨン中学校で環境問題と環境美化（ごみ処理を中心として）としての授業やワークショップを実践し、社会貢献の体験を重ねることでカンボジア国民としての意識高揚を図っていききたい。

③カンボジア教員研修交流事業（モリコロ基金：申請済み）

カンボジア支援を始めた当初より、教育施設建設とあわせて、視地教員の指導力向上を目指し、指導授業を実施してきた。最近では、本法人のメンバーのうち教職経験者が20人を越すに至って、指導授業の教科や指導内容も多彩になり、現地学校の要請にも柔軟に対応できるようになってきている。また、2013年より始まった「シェムリアップ州教員研修招聘事業」も4回の実績を重ね、現地教育庁からはぜひ継続発展させてほしい事業として強い要請を受けている。

本法人では、従来現地校で重点的に実施してきた、体育・理科・音楽・家庭科の授業に加え算数・数学を指導授業教科に加え学力向上を図っていききたい。また、招聘事業においては、日本の授業の多彩な方法を研修することで、現地教員の指導力向上につなげていききたい。